

講義科目 : 食と観光実践	単位数 : 2
担当 : 藤枝 律子	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

- ・この講義科目は、コンソーシアムみえに参加する三重県内の高等教育機関の単位互換科目です。
- ・三重大学が実施する事前・事後学習及び現地学習に他大学生とともに参加することになります。
- ・講義内容：三重県の重点課題である食と観光に対して、現地でのフィールドワークを交えた体験型実習を行なう。観光地としての魅力発信や観光客向けのインフラ整備といった生活と観光の両立に向けた課題を理解するとともに、スポーツやボランティアといった昨今の観光潮流と食文化をどのように結びつけるかの考え方を身に着ける。地域産業としての観光業と、地域資源としての歴史文化、そして食の魅力を考察し、提案する機会を設ける。
- ・学習の目的：本科目においては、成長産業に位置付けられる観光業の現状を学び、食や歴史文化といった地域独自の資源と結び付ける考え方を理解するための体系的なカリキュラムを用意している。現地学習型のフィールドワークによって地域課題を主体的に考え、グループワークにおいて専門性の異なる他者と議論し、地域の社会人に対してインタビューを行なうといった一連のプロセスによって、地域イノベーションを実践する人材育成を目指す。
- ・到達目標：三重県における社会的事象（観光客誘致、インフラ整備、事業継続性等）を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究する。本科目の特徴は現地学習型であり、3～5人のグループワークを通して地域課題（「食と観光」）を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元することができる。地域住民や社会人といった異なる立場の人たちにインタビューし、その内容に対してグループ討議を経てそれぞれの専門性に則った意見を述べることで主体性を発揮できる。

授業計画

- ① 1回目 6月中旬 13:00-17:00 @MieMu 4h 三重県の基礎情報を学ぶ 13:00-15:30 展示見学・講義（太田学芸員） 15:40-17:00 グループワーク
- ② 2回目 7月中旬 10:00-16:10 @松阪農業公園ベルファーム 5.5h 10:00-12:00 施設見学・体験 12:00-13:00 昼食・移動 13:00-14:00 食を通じた観光開発（富本） 14:10-16:10 グループワーク
- ③ 3回目 8月下旬 10:00-16:10 @松阪市内 5.5h 10:00-12:00 観光地としての松阪 12:00-13:00 昼食 13:00-14:30 松阪市における食と観光の取組み 14:40-16:10 グループワーク

《注意》：現時点での学習内容となり、実際の授業実施に際しては受入れ先と調整の上、変更の可能性もある。

事前・事後の学修もあり（それぞれ120分）

教材・テキスト・参考文献等

必要に応じて紹介する。

成績評価方法

事前学習や現地学習への積極的な参加40%、成果発表30%、レポート30%

受講要件

学生教育研究賠償責任保険(学研災・学研賠)への加入が条件